

《担当者名》 木浪智佳子 kinami@hoku-iryo-u.ac.jp 川崎ゆかり 谷本真唯

【概要】

成長・発達過程にある子どもの特徴、家族および環境がこどもに与える影響を理解するとともに、こどもと家族を対象とした看護実践の基盤となる知識と技術を学ぶ。

【学修目標】

1. こどもと家族を対象とした小児看護の役割を考えることができる。
2. 健康障害を持ち、医療をうけるこどもと家族への看護実践に必要な知識を習得することができる。
3. 基本的な小児看護技術の目的と原則を理解できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|--------------------------------|---|-----|
| 1 | 小児看護の理念 | ・小児看護の対象と目的を説明できる。 ・こどもの権利の擁護を説明できる。 | 木浪 |
| 2 | こどもを取り巻く社会状況と看護 | 少子化社会の現状と小児看護の課題を説明できる。 | 木浪 |
| 3 | こどもと家族のアセスメント(1) | こどもの成長と運動・認知の発達の特徴を説明できる | 木浪 |
| 4 | こどもと家族のアセスメント(2) | こどもの遊びの発達と生活習慣の自立の特徴を理解し、実際のこどもの行動と比較できる。 | 木浪 |
| 5 | 健康問題を持ち、さまざまな状況にあるこどもと家族の看護(1) | 病気や入院がこどもと家族に与える影響を理解し、こどもにとってのプレパレーションの概念と目的を説明できる。 | 木浪 |
| 6 | 健康問題を持ち、さまざまな状況にあるこどもと家族の看護(2) | 外来を受診したこどもと家族の特徴を理解し、外来看護の役割を説明できる。 | 木浪 |
| 7 | 健康問題を持ち、さまざまな状況にあるこどもと家族の看護(3) | 慢性疾患を持つこどもと家族の特徴を理解し、看護の役割を説明できる。 | 木浪 |
| 8 | 健康問題を持ち、さまざまな状況にあるこどもと家族の看護(4) | 終末期にあるこどもと家族の特徴を理解し、看護の役割を説明できる。 | 木浪 |
| 9 | 健康問題を持ち、さまざまな状況にあるこどもと家族の看護(5) | 手術を受けるこどもと家族の看護 ・こどもの手術の特徴、麻酔の影響を説明できる。 ・こどもの手術を支援する多職種とそれらの役割を説明できる。 | 木浪 |
| 10 | 健康問題を持ち、さまざまな状況にあるこどもと家族の看護(6) | 手術を受けるこどもと家族の看護 ・手術前・中・後の経過における症状観察と看護の役割を説明できる。 ・手術を受けるこどもの家族の心理状況を理解し、看護の役割を説明できる。 | 木浪 |
| 11 | こどもの看護の基本となる技術(1) (Aグループ) | 技術演習 新生児にとっての抱っこの意味や効果を考え、安全・安楽な抱っこの方法を身につける。 | 川崎 |
| | こどもの看護の基本となる技術(1) (Bグループ) | 技術演習 新生児の排泄や皮膚の特徴を考え、快適なおむつ交換の方法を身につける。 | 谷本 |
| 12 | こどもの看護の基本となる技術(2) | 技術演習 ・こどもの年齢、発達段階別の病床環境の特徴と留意点を理解し、安全・安楽な病床環境整備の方法を説明できる。 ・こどもの年齢、発達段階別に行われる身体計測の技術の方法と留意点を説明できる。 | 木浪 |
| 13 | こどもの主要症状と看護(1) | ・こどものバイタルサインズの基準値をもとに、症状のアセスメントを予測できる。 ・発熱・脱水のアセスメントの視点と看護を説明できる。 | 木浪 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|----------------|---------------------------|-----|
| 14 | こどもの主要症状と看護（2） | 下痢・嘔吐のアセスメントの視点と看護を説明できる。 | 木浪 |
| 15 | こどもの主要症状と看護（3） | 喘鳴・咳嗽のアセスメントの視点と看護を説明できる。 | 川崎 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

筆記試験90％・ミニレポート10％

【教科書】

二宮啓子・今野美紀編，看護学テキストNICE小児看護学，改訂第4版，南江堂，2022.

今野美紀・二宮啓子編，看護学テキストNICE小児看護学，改訂第4版，南江堂，2022.

日本家族計画協会，母子健康手帳，2025年度版.

【備考】

出席カードおよびGoogle formsによる出席確認を行う。

【学修の準備】

各回の授業前に教科書の該当部分を熟読して授業に臨む。（予習2時間）

各回の授業後に授業資料と教科書の該当部分を読み返し、授業内容の要点を振り返る。（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている

【実務経験】

木浪智佳子（看護師）、川崎ゆかり（看護師）、谷本真唯（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護および母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している